

検討の観点	内容の特色
<p>1. 内容</p>	<p>授業を組み立てやすい、ジャンル別・文種別の単元構成である。</p> <p>学習の流れを重視し、古文編と漢文編の二冊で構成され、それぞれ大きく二部構成となっている。</p> <p>文種・時代別の単元となっており、授業やカリキュラムを組み立てやすい構成となっている。</p> <p>日本の言語文化の伝統・意義を重層的に学べる作品群である。</p> <p>「なぜ古典を学ぶのか」を考えることができる現代の文章を各部の冒頭に配置している。</p> <p>「学びを広げる」では、複数ジャンル・時代にまたがる比べ読みにも取り組むことができる。</p> <p>豊富なコラムや図版とシンプルな構成が両立している紙面である。</p> <p>本教材の紙面は、文章読解・活動に集中できるようシンプルなレイアウトに統一している。</p> <p>同時に、文法や関連資料のコラムを豊富に掲載しており、様々な場面で活用できる。</p> <p>～教材選定と配列・構成について～</p> <p>①言語文化の変遷について理解を深め、古典の世界に親しむことができる教材である。</p> <p>古文・漢文とも、共通必修科目である「言語文化」における学習の成果をふまえ、各時代、各ジャンルにわたって、学習者が興味・関心をもって学習することができる基本的な文章、探究的な学びへの意欲を高めるような読み応えのある文章等、学習者の発達段階にふさわしくなるよう、広く、またバランスよく取り上げられている。</p> <p>②充実した言語活動により、総合的な国語運用能力の向上を目指すことができる。</p> <p>各教材には「語句と表現」が設定され、語彙や漢字について取り上げることで、我が国の言語文化に特徴的な表現の技法を学ぶだけでなく、古典と現代の言葉の連続性や変化について考えられるようになっている。また、「学びを広げる」で協働して行う表現活動を取り入れており、実生活における総合的な国語運用能力の向上を目指すことができるよう工夫されている。</p> <p>③時代の変遷を意識しつつ、日本の言語文化について重層的に学ぶことができる。</p> <p>文種・時代による単元構成が基本となっており、それぞれの作品に特有の表現や時代背景等に留意した学習が進められるよう配慮されている。それに加えてテーマ単元や、古典に関する評論、他の時代の作品との読み比べなどを適宜配置しており、古典全体を見わたす視座が意識されている。</p> <p>④様々な側面から、古典への興味関心を喚起することができる。</p> <p>「古典の扉」「文法から解釈へ」「漢文を読むために」といったコラムが適宜配置され、教材とともに学習した文法のきまりや表現の技法、文学史の流れなどが古典の中でどのような意義をもつかを考えられるよう工夫されている。また、各部冒頭には古典について書かれた現代の文章と「読書の扉」が置かれ、古典に対する新たな発見を促し、考えを広げたり深めたりできるよう配慮されている。</p>

『精選 古典探究』（15 三省堂 古探 704・705）—検討の観点と内容の特色

検討の観点	内容の特色
2. 構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●全体は「古文編」「漢文編」の二分冊、それぞれ二部に分かれており、授業やカリキュラムを組み立てやすく構成されている。（古文編 全 16 単元／漢文編全 14 単元） ●各部の冒頭に、単元から独立する形で古典について書かれた現代の文章が掲載されている。 ●教材に関連したコラム「古典の扉」のほか、読書案内や資料編も充実している。 ●「文法から解釈へ」「漢文を読むために」など、作品理解が深まるコラムが充実している。
3. 表記・表現、及び指導上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●挿絵や図版が適所に配置され、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えるものとなっている。 ●用語・記号は統一されており、生徒が理解しやすい記述になっている。 ●脚注は分量・内容とも適切である。また、平易な表現で記述されており、生徒の理解を助けるものとなっている。 ●授業を支援する教師用指導書や教材、ICT ツールなどが充実している。教科書には学習をサポートする二次元コードがある。指導しやすく学習しやすい教科書である。
4. ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育ならびにカラーユニバーサルデザイン（CUD）の専門家の知見を参考に、ユニバーサルデザイン（UD）に配慮し、誰もが使いやすい教科書となるよう工夫している。 ●CUD への対応として、色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色になっている。識別しにくい配色は避け、色だけの違いに頼らず、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設け、色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるように配慮している。 ●教材で使用している文字に UD フォントを使用し、読み誤りなどが生じにくいように配慮している。
5. 印刷・造本などの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●活字・写真・挿絵は鮮明で、かつレイアウトも工夫されており、学習に取り組みやすい教科書となっている。 ●教科書用紙は、環境の保護や資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用している。 ●印刷に使用しているインキは、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油のものを使用している。 ●製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。また、ページの開きがよく、読みやすい製本方式を用いている。
<p>【総合所見】</p> <p>生徒の学びに向かう力を引き出す明解かつ多様な教材が採録されており、学習過程や学習内容が明確で、言語活動の充実などが図られ、質的ならびに分量的にも適切である。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能の習得と、それらを活用して、思考力・判断力・表現力等の育成に資する工夫が随所に施され、主体的・対話的で深い学びができる。この教科書は、科目「古典探究」の目標である、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することに適した教科書である。</p>	